

# 自ら問題を解決し、 未来を創る生徒の育成

～「見方・考え方」を働かせる問題解決の過程を通して～

## 〈ごあいさつ〉



日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。  
令和3年度公開研究会を研究テーマ「自ら問題を解決し、未来を創る生徒の育成～「見方・考え方」を働かせる問題解決の過程を通して～」のもと、2次案内のとおり開催いたします。皆様には、新型コロナウイルス感染症対策を含め、今年度の公開研究会は、動画による授業公開とオンライン授業研究会の形式での実施を予定しております。

皆様には、お忙しい中、ご参加いただき、ご指導・ご意見を賜りたくご案内申し上げます。  
群馬大学共同教育学部附属中学校長 上原 永次

研究最終年次となる今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、**1人1台タブレット端末**の活用を「学びの質」を高めるための手立てとし、各教科等におけるICTの効果的な活用について研究を進めております。今年度の公開研究会は新型コロナウイルス感染症対策のため**オンラインでの開催**です。授業及びICTに関わる実践発表会や、信州大学 佐藤先生によるご講演は、YouTubeでの限定公開となります。また、授業研究会、ICT活用に関わるワークショップはZoomでの実施になりますので、勤務先や自宅からご参加いただけます。是非、多くの方々のご参加をお待ちしております。



### 各教科等授業、ICTに関わる実践発表会、講演会（YouTube 配信）

令和3年 **10月15日**（金）～ **10月19日**（火）

### 授業研究会（Zoom開催） 15:00～16:10

令和3年 **10月20日**（水） 社会、美術、学級活動  
**21日**（木） 国語、理科、保健体育、技術  
**22日**（金） 数学、英語、音楽、道徳

※20日～22日（15:00～16:10）にICT活用に関わるワークショップを開催します。3日間同じ内容で実施しますので、ご都合のよい日に、是非ご参加ください。

## 講演

### GIGAスクール構想で 求められる情報活用能力の育成

YouTube 配信 10/15～10/19  
信州大学 学術研究院教育学系  
助教 **佐藤 和紀** 先生

ICTに関わる実践発表会及び佐藤先生による講演会についても **YouTube公開**です。

## 申込み～参加までの流れ



**1 お申込み** フォームにて参加申込み  
**申込み締切 10月5日（火）**（参加申込みフォーム）

**2 参加申込み受付完了**  
\*視聴用URL受け取り  
\*クラウドから指導案等のダウンロード  
10月14日（木）に、YouTube視聴用URL及び、授業研究会用Zoom IDとパスコードをメールでお届けします。また、研究紀要、各教科学習指導案を自由にダウンロードできるクラウドへのアクセスURLをお送りします。

**3 各教科等授業、ICTに関わる実践発表会、講演会の視聴（YouTube）** **10月15日（金）～10月19日（火）**

**4 授業研究会への参加** <各教科の授業研究会日程> **15:00～16:10**  
10月20日（水） 社会、美術、学級活動  
21日（木） 国語、理科、保健体育、技術  
22日（金） 数学、英語、音楽、道徳  
※ICT活用に関わるワークショップを、3日間、同時時間帯に開催しております。内容は3日間とも同じです。Zoomでやりとりをしながら、ICT活用に関する疑問等に、本校ICT活用委員がお答えします。

※参加申込書は、本校HPからアクセスすることも可能です。  
詳しくは本校HP (<https://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>) をご覧ください。

### ●参加費 無料

### ●備考

- 「YouTubeによる授業及び講演会動画の配信」は、10月15日（金）～19日（火）の期間、いつでも視聴いただけます。
- 授業研究会やICT活用に関わるワークショップに参加される方は、PCをご使用の場合**カメラやマイク**が必要となります。
- インターネットにかかる通信料は、ご自身でご負担いただけます。
- その他、ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。



〈本校HP〉

### ●問い合わせ先

群馬大学共同教育学部附属中学校  
〒371-0052 群馬県前橋市上沖町612  
Tel 027-231-4651 Fax 027-231-3164  
副校長/関 悟 研究主任/柳川 祥恵  
HP: <https://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>



# 群馬大学共同教育学部附属中学校 公開研究会

## 自ら問題を解決し、未来を創る生徒の育成 ～「見方・考え方」を働かせる問題解決の過程を通して～（最終年次）






副校長 関 悟







研究主任 柳川 祥恵

| 教科 | 主 題    |      |       |
|----|--------|------|-------|
|    | 単元(等)名 | 授業PR | 指導助言者 |

### ■授業研究会① 10月20日（水）





|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| 社会   | よりよい社会の実現に向け、多面的・多角的に考察、構想することができる生徒の育成        |   |  |
|   | 公開授業<br>日本の諸地域「近畿地方」<br>授業者：後藤 高行<br>(2年4組)    | 環境保全と産業の振興の両立への取組を多面的・多角的に考察する中で気付いた、新たな課題を解決するための取組を考え提案する活動を通して、よりよい社会の実現に向け主体的に社会参画しようとする力を養います。               | 群馬県教育委員会<br>指導主事 星野 浩章<br>群馬大学共同教育学部<br>教授 関戸 明子 |
| 美術   | 「造形的なものの見方・考え方」を基に、新たな発想を生み出していく生徒の育成          |   |  |
|   | 公開授業<br>世界の仮面と出会う<br>授業者：多胡 慎平<br>(1年2組)       | 世界の仮面に着目し、造形的な視点から、そこに込められた思いや生活との関わりについて考え、新たな発想を表現していく力の育成を目指します。   | 群馬県教育委員会<br>指導主事 前島 隆宏<br>群馬大学共同教育学部<br>教授 齋江 貴志 |
| 学級活動   | 自分らしい生き方の実現に向けて、学び続けようとする生徒の育成                 |   |  |
|  | 公開授業<br>30歳になった自分を見つめよう<br>授業者：高橋 正人<br>(1年3組) | キャリア・パスポートを教材として活用し、これまでの自己の成長や変容を振り返る場を設定します。また、ICTを活用して、デジタルスタディ・ログとして蓄積された学びを個人で振り返り、共有することを通じてよりよい意思決定を目指します。 | 群馬県教育委員会<br>指導主事 坂口 延弘<br>群馬大学共同教育学部<br>教授 吉田 浩之 |

### ■授業研究会② 10月21日（木）

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 国語  | 確かな読みの技術に基づき、自分の思いや考えを広げたり深めたりする生徒の育成                   |   |   |
|  | 公開授業<br>夏の葬列<br>授業者：前原 聡<br>(2年1組)                      | 構成が時系列でない作品において、場面の展開と本来の時間の順序をロイロノートを活用して比較します。また、表現の効果について考えたことを伝え合うことを通して自分なりの考えをもつことができるようになります。  | 群馬県教育委員会<br>指導主事 柴崎 厚志<br>群馬大学共同教育学部<br>准教授 河内 昭浩 |
| 理科  | 自らの学習過程を振り返りながら、科学的に探究し続ける生徒の育成                         |   |   |
|  | 公開授業<br>水溶液<br>授業者：柏木 純<br>(1年1組)                       | 物質が水へ溶解するという現象について、粒子のモデルと関連付けて考える活動を通して、生徒が理科の見方・考え方を働かせることの意義に気づき、見いだした問題について見通しをもって解決する力の育成を目指します。 | 群馬県教育委員会<br>指導主事 大河原隆徳<br>群馬大学共同教育学部<br>教授 益田 裕充  |
| 保健体育  | 問題解決に向けて運動の取り組み方を工夫して楽しむ生徒の育成                           |   |   |
|  | 公開授業<br>マット運動<br>授業者：三好 和人<br>(1年4組)                    | ジグソー学習法で協働的な学びを実現し、タブレット端末を活用し、蓄積された映像データから自己の出来映えを実感できる生徒を育成します。                                     | 群馬県教育委員会<br>指導主事 小山 靖弘<br>群馬大学共同教育学部<br>准教授 鬼澤 陽子 |
| 技術  | よりよい生活や持続可能な社会の実現を目指し、学びを生活や社会とつなぐ生徒の育成                 |   |   |
|  | 公開授業<br>よりよい生活や社会を創る<br>双方向性コンテンツ<br>授業者：茂木 悟<br>(3年4組) | ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツについて、生活や社会における新たな問題の解決策を構想する活動を通して、技術の見方・考え方を働かせた提言を行い、生活や社会の問題解決に取り組む力を養います。  | 群馬県教育委員会<br>指導主事 品川 壽栄<br>群馬大学共同教育学部<br>講師 小熊 良一  |

| 教科 | 主 題    |      |       |
|----|--------|------|-------|
|    | 単元(等)名 | 授業PR | 指導助言者 |

### ■授業研究会③ 10月22日（金）

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 数学  | 数学に関わる事象を統一的・発展的に考察し、数学を深めていく生徒の育成                                 |  |   |
|    | 公開授業<br>相似と比<br>授業者：関根 直哉<br>(3年1組)                                | 日常生活の場面を数学化した課題について、生徒一人一人がICTを活用して解決する活動を通して、相似な図形や平行線と線分の比の性質を関連させながら考察し、数学を深めていく生徒の育成を目指します。                  | 群馬県教育委員会<br>指導主事 浦野 正<br>群馬大学共同教育学部<br>准教授 澤田麻衣子              |
| 英語  | 適切かつ正確な表現でコミュニケーションを図ることができる生徒の育成                                  |  |   |
|    | 公開授業<br>Program 5<br>The Story of Chocolate<br>授業者：小野里健太<br>(3年1組) | AIによる文法校正アプリを活用して、自己の表現に含まれる言語面の誤りを認識して文法知識に基づき修正する活動と、修正された表現を用いた言語活動を通して、適切な内容を、より正確に表現しようとする生徒の育成を目指します。      | 群馬県教育委員会<br>指導主事 田村 強<br>群馬大学共同教育学部<br>名誉教授 上原 景子<br>講師 山田 敏幸 |
| 音楽  | 自らの経験を生かして創意工夫し、思いや意図の実現を楽しむ生徒の育成                                  |  |   |
|   | 公開授業<br>歌詞の内容と曲想を生かして<br>表現を工夫し合わせて歌おう<br>授業者：星野 勇希<br>(3年3組)      | クラス合唱曲の歌詞の内容や曲想を感じ取り、生徒が見方・考え方を働かせながら協働的に練習することを通して、音楽のふさわしさを吟味しながら創意工夫する力の育成を目指します。                             | 群馬県教育委員会<br>指導主事 石川 文俊<br>群馬大学共同教育学部<br>教授 吉田 秀文              |
| 道徳  | 道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深め、よりよく生きようとする生徒の育成                             |  |   |
|  | 公開授業<br>D(22)よりよく生きる喜び<br>「足袋の季節」<br>授業者：千明 隼<br>(3年2組)            | タブレット端末を活用して思考の可視化を行い、物事を広い視野で多面的・多角的に考えた上で、対話を深める活動を通して、生徒がよりよく生きる喜びについて、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で生かし、道徳的に判断する力を養います。 | 群馬県教育委員会<br>指導主事 前原 稔彦<br>群馬大学共同教育学部<br>教授 益田 裕充              |

### 実践発表・ワークショップ

#### 教科特性に応じた活用と学校生活を豊かにするICT

実践発表会 10/15～10/19 (YouTube 配信)  
ワークショップ 10/20～10/22 (Zoom) ※3日間いつでもご参加ください

タブレット端末を**授業**でいかに活用していくかを、導入期から教科の特性に応じた活用までの実践を提案します。さらに、**生徒の学校生活をより豊かに**するための活用実践やその様子を紹介していきます。



ICT活用委員長 櫻井 康之

### 講演

#### GIGAスクール構想で求められる情報活用能力の育成

YouTube 配信 10/15～10/19

信州大学学術研究院教育学系 助教 佐藤 和紀 先生

信州大学 学術研究院 教育学系・助教 (教育学部 教育科学グループ)  
信州大学教育学部 学校教育教員養成課程 現代教育コース ICT活用教育ユニット  
信州大学教育学部 附属次世代型学び研究開発センター  
信州大学大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻 (教職大学院)  
信州大学 社会基盤研究所 AI・ロボティクス部門 (併任)

